



日本金銭機械株式会社

2027年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2026年8月

東証プライム市場 / 証券コード：6418

目次

AGENDA

01

第1四半期 連結業績ハイライト

P4

02

第1四半期 連結業績概要

P6

- 売上高 増減要因

P7

- 営業利益 増減要因

P8

03

セグメント別概要

P10

04

連結業績予想

P16

05

中期経営計画

P18

06

株主還元

P20

07

株価・PBR・ROE

P22



参考資料

P23

目次

AGENDA

01

第1四半期 連結業績ハイライト

P4

02

第1四半期 連結業績概要

P6

● 売上高 増減要因

P7

● 営業利益 増減要因

P8

03

セグメント別概要

P10

04

連結業績予想

P16

05

中期経営計画

P18

06

株主還元

P20

07

株価・PBR・ROE

P22



参考資料

P23

前年同期比で増収増益

グローバルゲーミング

北米地域においてゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニット及びプリンターユニットの販売が増加

海外コマーシャル

欧州地域向けの受注回復により、主にセルフレジ精算機向け紙幣還流ユニットの販売が増加

売上高

10,280 百万円 | 35.1%増

(対前年同四半期増減率)

■ 1Q ■ 通期 (百万円)



営業利益

1,624 百万円 | 268.2%増

(対前年同四半期増減率)

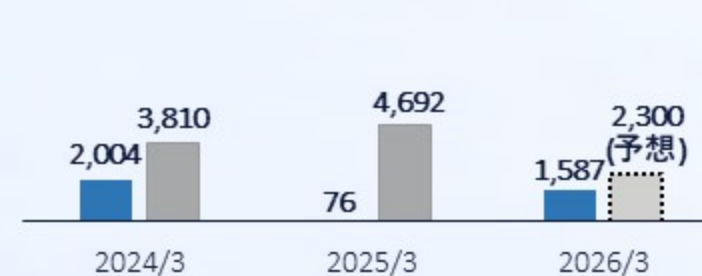
■ 1Q ■ 通期 (百万円)



四半期純利益

1,587 百万円 | —

■ 1Q ■ 通期 (百万円)



目次

AGENDA

01

第1四半期 連結業績ハイライト

P4

02

第1四半期 連結業績概要

P6

● 売上高 増減要因

P7

● 営業利益 増減要因

P8

03

セグメント別概要

P10

04

連結業績予想

P16

05

中期経営計画

P18

06

株主還元

P20

07

株価・PBR・ROE

P22



参考資料

P23

単位：百万円		2026/3 1Q		2027/3 1Q		前年同期比					
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率				
売	上	高	7,612	100.0%	10,280	100.0%	+ 2,668	+35.1%			
営	業	利	益	441	5.8%	1,624	15.8%	+ 1,183	+268.2%		
経	常	利	益	261	3.4%	1,869	18.2%	+ 1,607	+615.2%		
四	半	期	純	利	益	76	1.0%	1,587	15.4%	+ 1,510	—
1株当たり四半期純利益		2.83円		58.52円		+55.69円					
平均為替レート	米ドル	151.22円		156.47円		+5.25円					
	ユーロ	159.38円		183.60円		+24.22円					

■ 主な増減要因

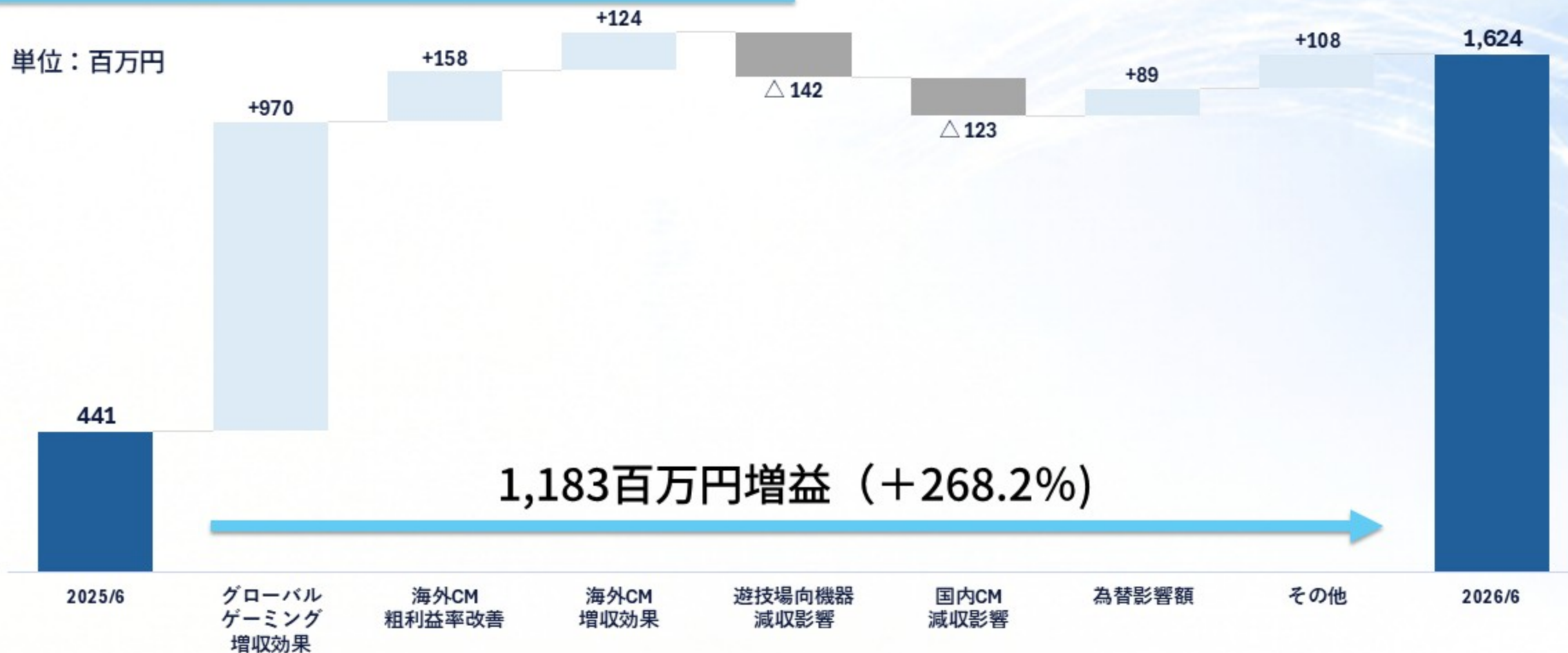
- ・グローバルゲーミング市場の北米地域向け主力製品の大幅な販売増加
- ・海外コマーシャル市場の欧州地域向け受注回復による販売の増加

単位：百万円



■ 主な増減要因

グローバルゲーミング及び海外コマースの増収に伴い、
営業利益は、前年同期比で大幅に増加



目次

AGENDA

01

第1四半期 連結業績ハイライト

P4

02

第1四半期 連結業績概要

P6

● 売上高 増減要因

P7

● 営業利益 増減要因

P8

03

セグメント別概要

P10

04

連結業績予想

P16

05

中期経営計画

P18

06

株主還元

P20

07

株価・PBR・ROE

P22



参考資料

P23

グローバルゲーミングは、売上高・営業利益ともに前年同期比で大幅増
 海外コマーシャルは増収により、当四半期は黒字を確保
 一方で、国内コマーシャル及び遊技場向機器は減収により損失を計上

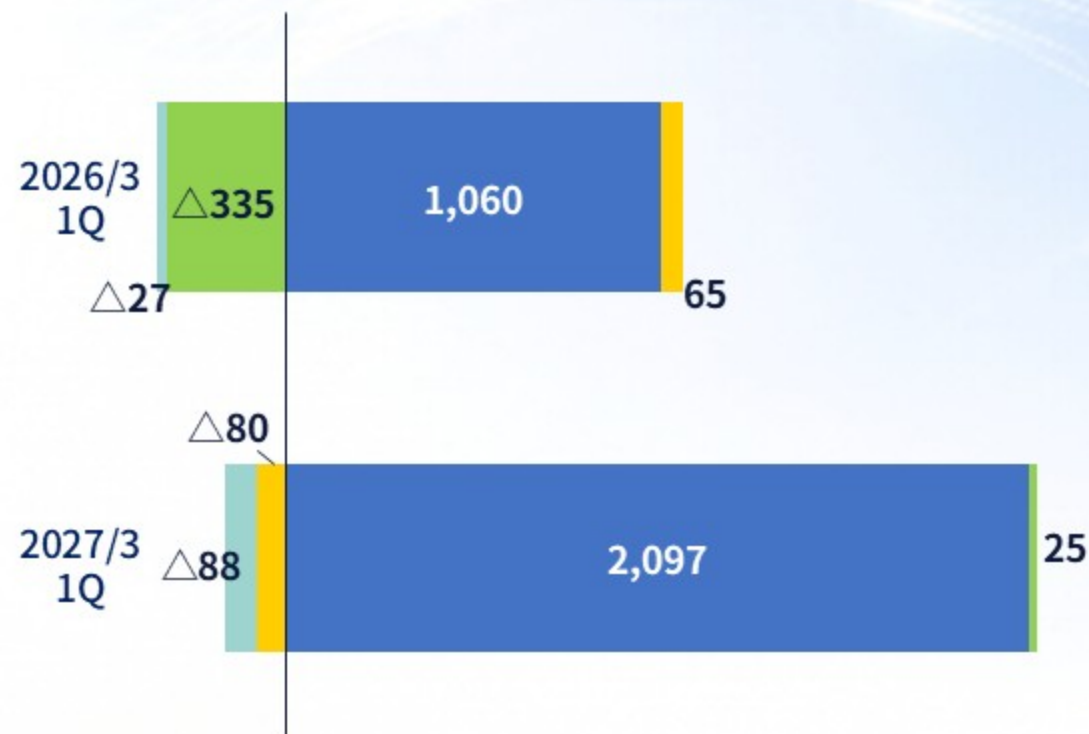
セグメント別売上高

(百万円)



セグメント別営業利益

(百万円)



■ グローバルゲーミング ■ 海外コマーシャル ■ 国内コマーシャル ■ 遊技場向機器



■事業概要

主な市場は北米カジノホテルのゲーミングエリア、欧州のストリートのゲーム場

ゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニットやプリンターユニット、カジノホテルの省力化や自動化のためのシステム製品等を販売

■主な納入先

スロットマシンメーカー、カジノホテル

■業績概況

北米地域においてゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニット及びプリンターユニットの販売が増加したことなどにより、セグメント売上高・セグメント利益ともに増加

売上高

7,573 百万円

53.4%増

(対前年同四半期増減率)

■ 1Q ■ □ 通期 (百万円)



セグメント利益

2,097 百万円

97.7%増

(対前年同四半期増減率)

■ 1Q ■ □ 通期 (百万円)



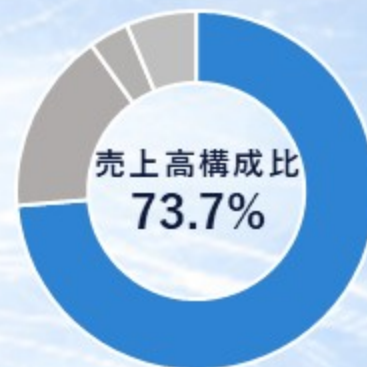
主な製品



紙幣識別機ユニット



プリンターユニット

カジノホテル現金回収業務
自動化システムテーブルゲームシステム
(紙幣還流ユニット・プリンターユニット搭載)



■事業概要

海外の流通・交通・金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先

完成品メーカー（セルフレジ、キオスク端末等）

■業績概況

欧州地域向けの受注状況が回復し、セルフレジ精算機向けの紙幣還流ユニットの販売が増加したことなどにより、セグメント売上高は増加
セグメント利益も黒字転換

売上高

1,688 百万円

62.8%増

(対前年同四半期増減率)

■ 1Q ■ □ 通期 (百万円)



セグメント利益

25 百万円

—

■ 1Q ■ □ 通期 (百万円)



主な製品



紙幣還流ユニット



自動釣銭機



紙幣識別機ユニット



■事業概要

日本の流通、交通、金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先

完成品メーカー

(飲食店セルフ精算機、コインパーキング、セルフガソリンスタンド、バス等)

■業績概況

ホテル及び駐車場精算機向けの紙幣還流ユニットの販売が減少したことなどにより、減収減益

売上高

366 百万円

43.5%減

(対前年同四半期増減率)



セグメント利益

△80 百万円

—

■ 1Q ■ □ 通期 (百万円)



主な製品



紙幣還流ユニット



硬貨還流ユニット

キャッシュレス対応
自動精算機



■事業概要

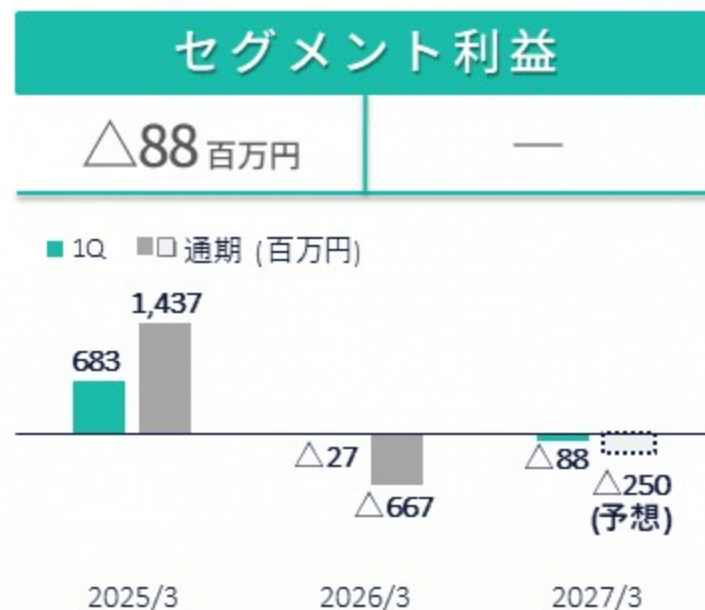
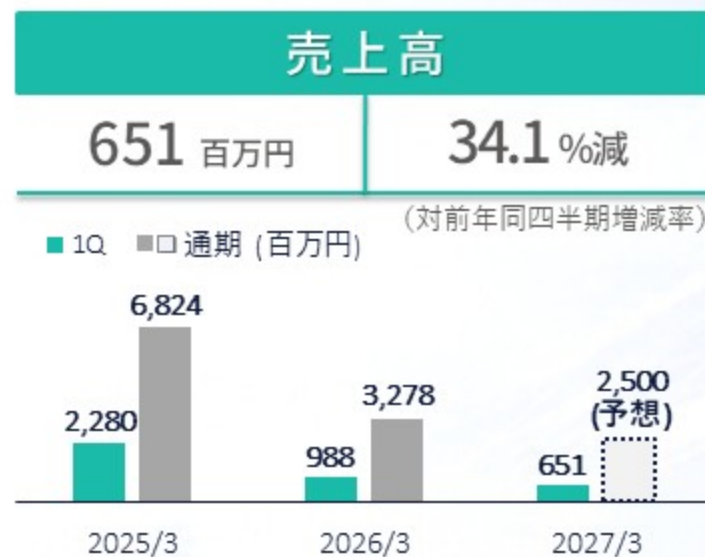
パチンコホール向けに、スマート遊技機専用ユニットや玉・メダル貸機、メダル自動補給システム等の周辺設備機器を販売

■主な納入先

パチンコホール

■業績概況

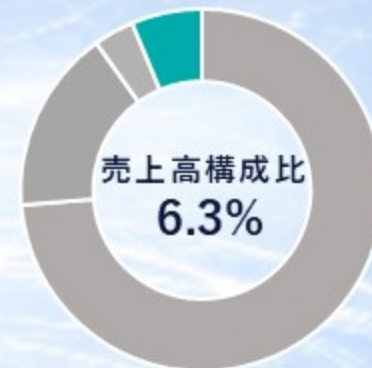
紙幣搬送システム等の周辺機器の販売が減少したことなどにより、減収減益



主な製品



景品管理POS



紙幣搬送システム



景品払出機

スマート遊技機
専用ユニット

目次

AGENDA

01

第1四半期 連結業績ハイライト

P4

02

第1四半期 連結業績概要

P6

● 売上高 増減要因

P7

● 営業利益 増減要因

P8

03

セグメント別概要

P10

04

連結業績予想

P16

05

中期経営計画

P18

06

株主還元

P20

07

株価・PBR・ROE

P22



参考資料

P23

グローバルゲーミングは、キャッシュ創出力の高い事業としてグループ業績を牽引
海外コマーシャルは、将来の利益の底上げを担う事業として、収益性の改善を進める。

単位：百万円

グローバルゲーミング

北米地域を中心に、製品販売は堅調に推移する見込み

海外コマーシャル

- ・欧州地域における製品需要の回復
- ・富士通フロンテック株式会社からの事業譲受に伴う製品販売の寄与

	中間期予想	通期予想
売上高	20,200	39,000
営業利益	2,200	3,000
経常利益	2,300	3,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,600	2,300
1株当たり 当期純利益	58.99円	84.79円

目次

AGENDA

01

第1四半期 連結業績ハイライト

P4

02

第1四半期 連結業績概要

P6

● 売上高 増減要因

P7

● 営業利益 増減要因

P8

03

セグメント別概要

P10

04

連結業績予想

P16

05

中期経営計画

P18

06

株主還元

P20

07

株価・PBR・ROE

P22



参考資料

P23

2026年5月21日に、2028年度（2029年3月期）を最終年度とする
中期経営計画「JCM Global Vision 2032～Next Growth Stage～」を策定

以下の主な財務目標を設定し、当該計画達成に向けて着実に実行中



JCM Global Vision 2032～Next Growth Stage～



財務目標（2028年度）



売上高（CAGR）

10 %

（2025-2028）



営業利益率

10 %

（2028年度）



ROE

8 %

（2028年度）



海外コマーシャル 売上比率

38 %

（2028年度）*2025年度15%

（百万円）

■ 売上高 ● 営業利益



目次

AGENDA

01

第1四半期 連結業績ハイライト

P4

02

第1四半期 連結業績概要

P6

● 売上高 増減要因

P7

● 営業利益 増減要因

P8

03

セグメント別概要

P10

04

連結業績予想

P16

05

中期経営計画

P18

06

株主還元

P20

07

株価・PBR・ROE

P22



参考資料

P23

配当

配当方針：連結配当性向**50%**以上

2027年3月期の年間配当予想は1株当たり46円（中間23円、期末23円）を予定

■ 中間配当(円) ■ 期末配当(円) ■ 記念配当(円) — 配当性向(%)



配当性向：50% 以上

中期経営計画

「JCM Global Vision 2032~Next Growth Stage~」

目次

AGENDA

01

第1四半期 連結業績ハイライト

P4

02

第1四半期 連結業績概要

P6

● 売上高 増減要因

P7

● 営業利益 増減要因

P8

03

セグメント別概要

P10

04

連結業績予想

P16

05

中期経営計画

P18

06

株主還元

P20

07

株価・PBR・ROE

P22



参考資料

P23

株価の推移



PBR

0.89倍 (2026/8/19)

持続的な維持・向上に
向けた基準値
1.0倍以上



ROE

13.8% (2026/3末)

中期経営計画目標値
8%以上



参考資料

REFERENCES

01

会社概要・沿革

P24

02

連結貸借対照表・連結キャッシュフロー
設備投資額・減価償却費・研究開発費

P26

03

為替影響

P29

04

市場シェア

P30

05

Topics

P31

06

サステナビリティへの取り組み

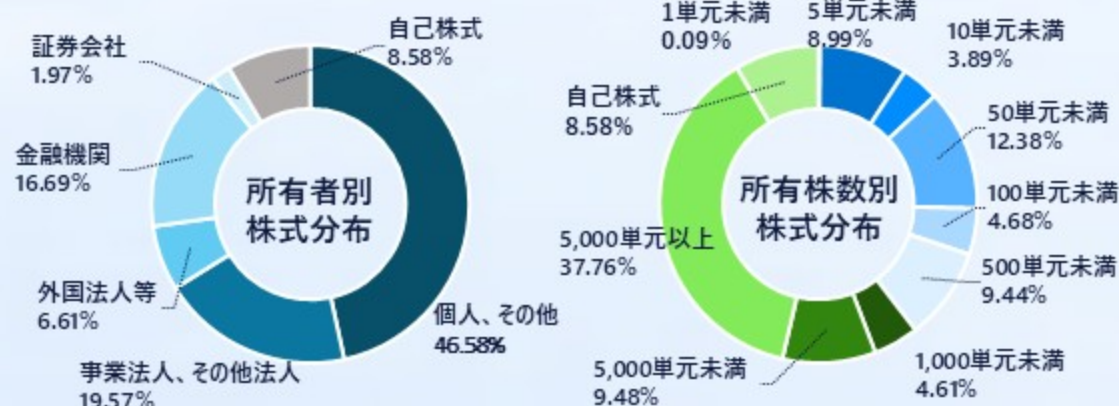
P33

商号	日本金銭機械株式会社 Japan Cash Machine Co.,Ltd.
設立	1955年1月11日
代表者	代表取締役社長 上東 洋次郎 代表取締役専務取締役 高垣 豪
本社所在地	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号

上場区分	東証プライム市場
社員数	572名（2026年3月31日現在）
資本金	22億2,031万円（2026年3月31日現在）
事業所	本社（大阪市浪速区）、東京本社（東京都港区）、 長浜工場（滋賀県長浜市）
海外拠点	アメリカ（ラスベガス、ダラス）、ブラジル、 ドイツ、イギリス、タイ、フィリピン

株式の状況（2026年3月31日現在）

発行可能株式総数	118,000,000株	1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	29,672,651株	株主数	25,304名



株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,836	10.46
上東 洋次郎	1,466	5.41
上東 好子	638	2.35
株式会社りそな銀行	563	2.08
日本金銭機械従業員持株会	533	1.97
株式会社三井住友銀行	503	1.86
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	465	1.72
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.59
日本生命保険相互会社	403	1.49

(注) 1. 当社は、自己株式を2,547,614株保有（2026年3月31日現在）しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

Our History

1955年に創業して以来、当社は貨幣処理機器メーカーという専門性の高い分野を担うメーカーとして、「人と人」、「人と貨幣」を円滑につないできました。

これまで世界市場を舞台に貨幣流通のスペシャリストとして培った技術を基に、それぞれの市場に求められる新たな価値を提供できる、インターナショナル企業として、人々の期待と信頼に応え続けていきます。

売上高の推移 ■ 単体売上高 ■ 連結売上高



会社設立



レジスターの製造開始



紙幣識別機の製造開始



米国に子会社設立



欧州に子会社設立



ゲーミング市場向けプリンターユニット製造販売会社取得、子会社化



フィリピンに子会社設立



米国、ブラジルに子会社設立



中・小型リサイクラーディスプレイ製造・販売事業を譲受

■ 資産、負債及び純資産：+1,533百万円

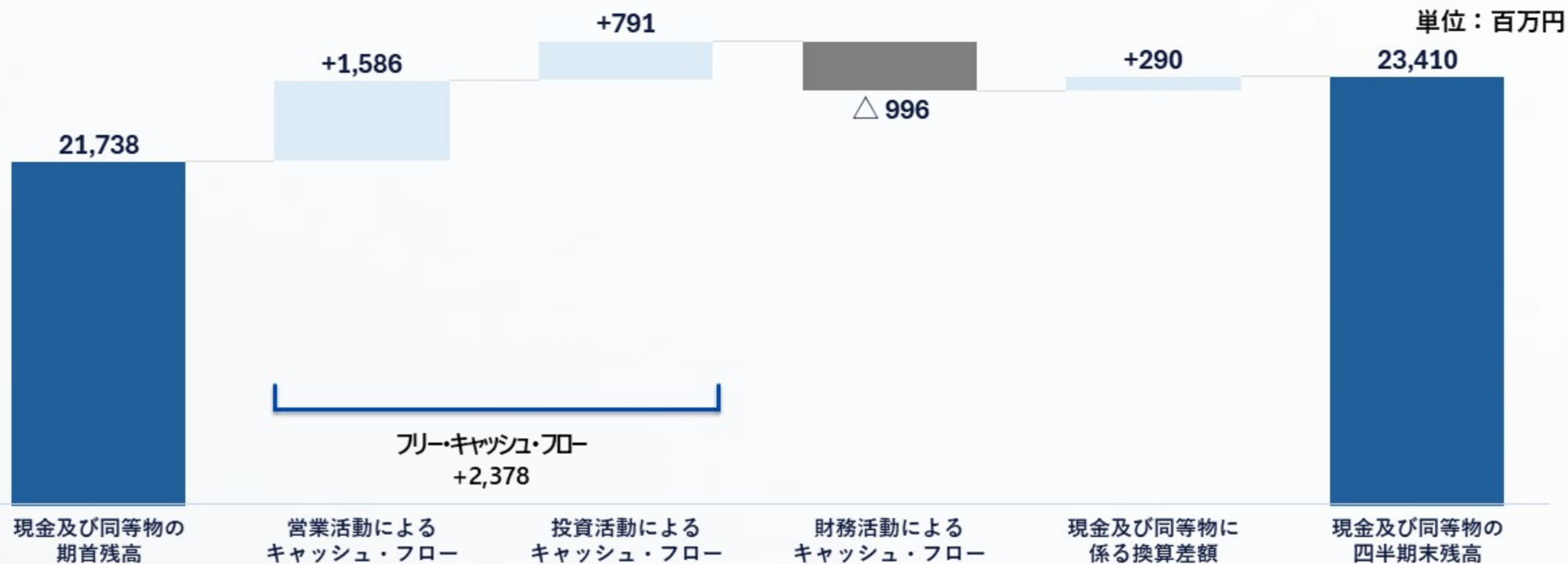
- 流動資産 +2,266百万円:現預金及び売掛債権の増加
- 固定資産 △727百万円:投資有価証券の売却による投資その他の資産の減少
- 純資産 +1,274百万円:利益剰余金の増加

単位：百万円		2025/9末	2026/3末	2026/6末	前期末比増減
	現預金・有価証券	21,665	23,034	24,708	+1,674
	売掛債権	4,934	6,224	7,210	+986
	棚卸資産	14,613	12,969	12,451	△518
	その他	895	1,090	1,214	+124
流動資産合計		42,108	43,318	45,584	+2,266
	有形固定資産	2,466	2,627	2,707	+79
	無形固定資産	189	410	401	△8
	投資その他の資産	4,858	5,784	4,985	△798
固定資産合計		7,514	8,822	8,094	△727
	繰延資産その他	91	81	76	△5
繰延資産合計		91	81	76	△5
資産合計		49,715	52,222	53,755	+1,533

単位：百万円		2025/9末	2026/3末	2026/6末	前期末比増減
	買掛債務	1,365	1,434	2,524	+1,090
	短期借入金	1,500	1,200	900	△300
	その他	4,539	4,911	4,518	△393
流動負債合計		7,404	7,545	7,942	+396
	社債・長期借入	8,370	7,920	7,800	△120
	その他	312	911	892	△18
固定負債合計		8,682	8,831	8,692	△138
負債合計		16,087	16,377	16,635	+258
	資本金	2,220	2,220	2,220	-
	資本・利益剰余金	32,489	33,350	34,395	+1,044
	その他	△1,082	274	504	+229
純資産合計		33,627	35,845	37,120	+1,274
負債純資産合計		49,715	52,222	53,755	+1,533

■主な増減要因

- ・営業活動C F：税金等調整前四半期純利益の計上及び仕入債務の増加により資金が増加した一方、売上債権の増加や、法人税等の支払いにより資金が減少
- ・投資活動C F：投資有価証券の売却に伴う収入により増加
- ・財務活動C F：長期借入金の返済、配当金の支払額等により支出



2027/3 1Q

設備投資額

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)



減価償却費 (のれん除く)

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)



研究開発費・対売上高比率

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)

● 対売上高比率



■ 為替感応度：円安は業績プラス要因

1円変動による影響額（通期：百万円）		2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3 1Q
期中平均レート	米ドル	132.08円	141.20円	152.28円	149.79円	156.47円
	ユーロ	138.58円	153.20円	164.45円	169.58円	183.60円
売上高	米ドル	91	99	149	160	51
	ユーロ	48	59	65	47	16
営業利益	米ドル	11	14	37	47	15
	ユーロ	3	3	6	4	1
期末日レート	米ドル	133.54円	151.42円	149.53円	159.93円	162.45円
	ユーロ	145.76円	163.38円	162.09円	183.52円	185.44円
営業外損益	米ドル	40	33	37	43	44
	ユーロ	4	5	4	5	6

グローバルゲーミング



海外コマーシャル

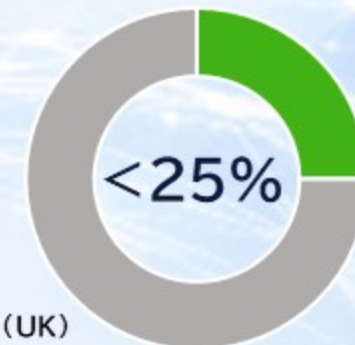


紙幣還流ユニット



■競合企業

- ・Innovative Technology (UK)
- ・Crane payment innovations (MEI, Cash Code, Money Control (USA))



国内コマーシャル



紙幣還流ユニット

硬貨還流ユニット



■競合企業

- ・グローリー(株)
- ・(株)高見沢サイバネティックス



遊技場向機器

スマート遊技機専用ユニット

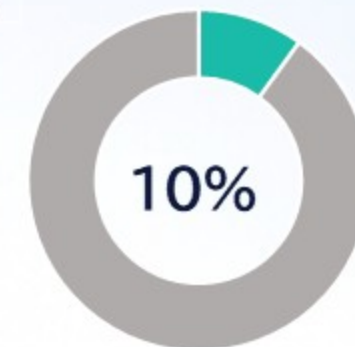


景品管理POS



■競合企業

- ・日本ゲームカード(株)
- ・ダイコク電機(株)
- ・グローリーナス力(株)



グローバルゲーミング

■世界のゲーミング市場における高いブランド力

JCMグループは、米国、欧州をはじめとした世界のゲーミング市場において、ゲーミング関連機器等の販売と各種サービスを提供しており、現在、北米で約190を超えるゲーミングライセンスを取得し、世界のゲーミング市場における実績とノウハウを保有する数少ない日本企業であります。

■カジノホテル向けスロットマシンのメーカーをはじめ、周辺設備機器、システムソリューションやサービスなど、幅広いジャンルの関連企業が集まるゲーミングショーに毎年出展し、新製品や当社の最新技術を紹介しております。



米国最大のゲーミングショー
Global Gaming Expo
ラスベガス



カジノホテル
現金回収業務自動化システム
「ICB ASAP®」



欧州最大のゲーミングショー
International Casino Exhibition
バルセロナ



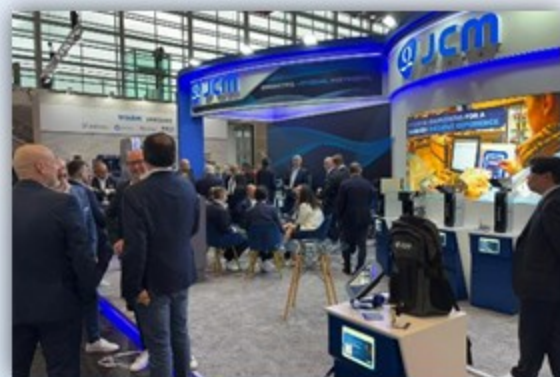
アジア最大のゲーミングショー
Global Gaming Expo ASIA
マカオ

海外コマーシャル

■コマーシャル市場の開拓

JCMグループは、北米及び中南米地域のコマーシャル市場の開拓、当社製品の販売拡大を目的として、コマーシャル事業に特化した販売子会社を設立し、コマーシャル事業をゲーミング事業に次ぐ主力事業とすべく、積極的な販売提案活動に注力しております。

■海外コマーシャル市場におけるシェア拡大に向けて、世界各地の金融・流通向け市場の展示会に出展し、新製品を含め多数の当社製品を紹介や、協力企業との共同出展により更なる販路拡大に努めております。



欧州最大の流通業界向け展示会
Euro CIS
ドイツ



北米最大の金融・流通業界向け展示会
National Retail Federation
ニューヨーク



北米最大の小売り業界向け展示会
NACS Show
ラスベガス



南米の金融・流通業界向け展示会
FEBRABAN TECH
ブラジル

■環境



気候関連のリスク及び機会に関する当社グループの指標と目標は、Scope 1、Scope 2 について、2030年度までに温室効果ガス排出量51%削減（2018年度比）を目指します。

温室効果ガス排出量実績及び目標

（単位：t-CO₂e）

2030年度 目標	2018年度 実績比	削減に向けた対応	2024年度 実績 (参考)
642	△51.0%	①省エネルギー設備の導入継続 ②社用車の完全エコカー化 （ハイブリッド車、電気自動車等） ③国内外各拠点の 再生可能エネルギー電力への転換 ④国内外各拠点における段階的な 環境価値証書の活用	996

■人的資本



当社グループの人的資本に対する基本方針は、従業員は「お互いを尊重し合い、個性を発揮しながら仕事を通じて人として成長し続けること」、会社は「人が成長し続ける機会を、仕事を通じて提供していくこと」で、従業員一人ひとりが家庭と職場に良い影響を与え、それらが集結することで継続的に価値を創造し続ける企業であり続けることが出来ると考えております。

今後、より一層事業のグローバル化を進めていく中、人事戦略の世界基準となっている「ダイバーシティの拡充」、「中核人材の育成」、「多様な働き方の実現」を当社の人材戦略の中心とし、その取り組みを推進してまいります。

当社グループではサステナビリティ推進にあたり、前述のとおり人的資本を重要視しており、上記各方針の実現に向けて、次の指標を用いており、当該指標に基づく目標及び実績は以下のとおりです。

指標	対象範囲	目標	実績 (2026年3月期)
採用に占める 女性比率	単体	30%以上	26.7%
正社員に占める 女性従業員比率	単体	2032年までに20%	17.7%

日本金銭機械株式会社 (日本語)

<https://www.jcm-hq.co.jp>

JCM Global (English)

<https://jcmglobal.com>



過去の決算説明資料は、ホームページ(日本語)でもご覧いただけます。

「投資家情報」→「IRライブラリー」→「決算短信・補足説明資料」

お問合せ先 : 経営企画本部 広報・IR担当 06-6643-8400(代)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

